



## ドキュメンテーション報告

ドキュメンテーションとは、子どもの言葉や姿を記録し、保育者の意図や遊びの中の子どもの育ちや学びを可視化し、保護者に発信すると共に、保育を振り返り、子どもや次への保育へつなげる一つのツールです。

保育所・幼稚園・認定こども園では、ドキュメンテーションを園の玄関や廊下等に掲示したり、クラスだよりとして発信したり、各園が創意工夫して、可視化に取り組んでいます。

今年度のドキュメンテーションは、令和6年3月に改訂された「舞鶴市乳幼児教育ビジョン」の基本方針にも示されています「子どもが主体的に環境と関わりながら、気付いたり、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりして、夢中になって遊びこむ」ことを大切した保育実践を中心に、掲載しています。

## 気付き・発見

### ～知識・技能の基礎～

乳幼児期には、五感（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）を通じて、直接的な体験をすることが大切です。こどもは、様々なものを見たり、触れたりして感じることで気付いたり、発見したりしています。その気付きや発見に保育者が共感したり、認めたり、周りに発信したりして関わることで満足感や充実感を味わうことにもつながります。

～舞鶴市乳幼児教育ビジョン 基本方針 p16,17より～

## 5歳児 ぞう組 「これってなんキロ??」

4月25日(木)

給食の先生に「明日、こまつなを1kgとってきててくれる?」とお願いされました。



次の日

朝、机の上にはかりを出して準備していると・・・

重さ比べが始まりました！

### 思考力の芽生え

数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚



自分の水筒をみんな持ってきては比べていました。  
○○ちゃんの方が多い、○○君のは少ない、とそれぞれの水筒の重さが違うことがわかりました。

いろいろはかってみよう！



### 協同性



はかりの針を見て、なにが1キロなのかみんなで探していました。  
のりやハサミ、お道具箱におもちゃなど、いろいろなものをのせてみては「まだまだや~」「もうちょっとで1になる!」と友達と伝えあいながら協力して“1kg”を見つけていました。

1キロがわかった子どもたち。  
その後、こまつなも測ってくれました！



### 言葉による伝え合い

・様々なものを測ってみることで予測したり、重さを体感したり、気づいたことなどを伝えあつたりする姿が見られました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------



## 4歳児 きく組 「1, 2, 3…かぞえみよう！」

夏の朝、朝顔の花の観察が続いている。  
咲いた花の数だけシールを貼る子ども達が毎日シールの色を変えて貼っている。

Y: 昨日は4個

シールを数えたら、朝顔の花がいくつ咲いたか、わかるね

K: 今日は21個やな

今日は多いな

Z: 100っておおいなあ

「1, 2, 3…」と、教えることに夢中になってきた子ども達。  
ペットボトルのキャップや作ったドーナツを数えたり、「100かいだてのいえ」シリーズの絵本を見て数えたり、数えることに夢中である。

色々なものを数えることで、100という数の大きさを体感している様子が見られます。

今度はおやつのとうもろこしの粒が気になった子ども達。

どうやって数える？

Y: おやつのとうもろこし、いくつあるかなあ

S: 50かな？

K: 100かな？

つぶつぶは何個？あるでしょうか

Y: おやつのとうもろこし、いくつあるかなあ

K: すごい！ いっぱいある もう、わからんな

ほんと！ いっぱい数えたね

とうもろこしをくるくるまわして、数え始めたが、とても数えにくい様子。保育者が「どうする？一粒ずつ、はずしてみる？」と提案すると子どもたちが並べ始めた。  
それを一緒に数え始めると「538、539、540…」と、聞いた事のない数となる。  
「まだまだある…」と子ども達は、じっと聞いていたり、「すごい！ いっぱいある。もう、わからんな」と、呟く子も現れた。

興味があったことなので、根気強く数えています。すごくいっぱいという表現で数の多さを表現しています。

いろいろな物を「1, 2, 3…」と、指差しながら数え始めた子ども達の姿は『数を知る呪文』を唱えるようだつた。数える・比べる（多い・少ない等、）ことを朝顔の花の数のシール貼りや食材（とうもろこし）の粒を数えることなど、身近な物を数える機会を増やし、子ども達が何に気づくのか、見守ったり、提案したりしてみた。  
興味関心を広げる為に、数に関する絵本を用意したり、「何かしたいことやチャレンジしたいことはなあに？」と、子ども達の希望も聞くようにした。子ども達と沢山やりとりする中で、一緒に考えたり、更に興味関心が広がるように心がけた。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

思考力の芽生え

社会生活との関わり

自然との関わり  
生命尊重

数量や図形、  
標識や文字などへの関心・感覚

言葉による  
伝え合い

豊かな感性と表現

## 4歳児 きく組 「くらべるって おもしろい」

夏から「数」に興味を持ち始めた子ども達。高さや長さにも興味を持ち、数える、比べるを続けていた。

ペットボトルのキャップを積んで、高さを競ったり、積んでも倒れない積み方を考えたり、遊びの中で、比べること、数えることが増えていった。

ある日、粘土遊びをしていたK君が、粘土を細長く伸ばして、「先生とこのへび、どっちがながい？」と聞いてきた。

椅子の上に立ち、そっと持ち上げるが、切れてしまった。床の上でバラバラになった粘土を急いで繋げている。

「粘土とくらべるの？どっちかなあ」と、保育者は寝転んでみた。「先生の勝ち！先生のほうがながい！」とT君が発言。「今度は、ぼく（K君）がしたい！」と粘土の横に、寝転んだ。

13個  
つめたよ

山になった！  
ゆれても倒れんで！



たくさんつめた！

保育者が寝転んだことで、見比べやすくなつたこと  
がわかり、自分も興味がわき、比べてみようとして  
います。

これって100より  
おおきい？

どう？僕と  
どっちがながい？

みじかいで！  
上靴置いてみたら？



T君とK君、  
どっちがながい？

にんげんとくつか  
2個やで  
おんなんじやな

K君とT君と  
せがちがうやん！

メジャーなものさしもあり、子ども達もそれで測れば  
良いと提案してきた。

それでは、面白くないので保育者が「K君の背の高さは  
どれくらいかな？」と、聞くと、「身体測定した」と、  
思い出した。その表を見て身長と靴のサイズ2個分をたし  
て、保育者と一緒に電卓を使って、計算をした。

夏祭りのお店ごっこで、電卓を使って簡単な計算が  
出来ることを知り、それを思い出して使っています。

T君、せんせいは  
160くらいよ

K君105とくつ17  
全部で139や！



せんせいと  
どっちが  
おおきい？

せんせいの  
かちや！

遊びの中で「数」に親しむと共に、高さや長さで数を表せることを理解し、比べることを楽しみました。  
その時に、どのくらい長いのかを、子どもに身近な「高さ」である身長と比較し、具体的に示すことで、  
より実感できました。

これからも「たのしい」「おもしろい」「ためしたい」保育を、子ども達と共に楽しんでいきたいです。また、生活や遊びの中で、数量的な興味や関心が芽生えるような、言葉かけ、環境作りを意識して、日々保育していきたいと思います。

幼稚期の終わり までに育ってほしい10の姿	健康な 心と体	自立 心	協同性	道徳性・規範 意識の芽生え	思考力の 芽生え	社会生活 との 関わり	自然との 関わり 生命尊重	数量や図形、 標識や文字 などへの関 心・感覚	言葉に による 伝え合い	豊かな 感性と表現
--------------------------	------------	---------	-----	------------------	-------------	-------------------	---------------------	----------------------------------	--------------------	--------------



# 平こども園

## 3歳児 こあら組 「あなたは、だれ？」

園庭遊びをしていると遊んでいた遊具に小さな虫が止まっているのに気が付いたAちゃん。

触覚や顔が動いていることに気がつき、遊具で遊んでいた子ども達みんなで観察が始まりました。

てんとうむしや！

なんの虫さんかな？

てんとうむし？

なるほど！たしかに丸いのついてるね

カメムシにも似とるな！

手にのせて見てみる？

飛んでいかんな～

風で飛ばされんかな？



ちっちゃくてかわいい！

てんとうむし違うで

でも、てんとうむしの丸いやついてないよ

てんとうむしさん背中に丸いのついてるじゃん



観察をする中で、気づいたことを自分の言葉で伝えたり、友達の意見に耳を傾けたり、思いを共有できるように見守った。

てんとうむしの友達じゃない？

小さいから可哀そう

休憩しどってやからおいとこ

お家帰れるかな？



生き物の観察を通して、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の意見を聞いて共有したりすることで生き物について更に興味や関心を深めることができました。すべての虫を虫と括りにするのではなく、自分が知っている情報や虫の姿・手足の特徴から、てんとう虫やカメムシなど虫の種類について導き出したり、考えを共有する姿も見られました。その後、近くで観察をしたいと、捕まえたいと言う子もいましたが、「休憩してるから」と言う友達の意見を聞いて、そのまま観察をする姿が見られ、身近な生き物を大切にしようとする気持ちが育ってきています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	---------	-----------	----------

## 5歳児 きりん組 「 今日の月は何パーセント？」

9月のお月見の時期に、月刊絵本で月の話が載っていました。興味を持ったA君は、部屋の本棚にあった月の満ち欠けカレンダーを見つけて見ていました。その日の日付の月の形を確認して、夜、月を見たA君。

次の日、「先生、月の形絵本と違ったなあ」と言いました。確認すると、A君が見ていたのは去年の9月の月カレンダーだったのです。そこで保育者が今年の9月の月カレンダーを貼りました。



A君。今日は何%の月なん?



今日の月はどんな形かな?

初めは、月の形のみに着目していましたが、次第にA君は、一緒に載っていた輝面率にも興味を示し、今日は何パーセントの輝面率かを毎日確認するようになりました。

毎日今日の月の輝面率を調べて、保育教諭に報告してくれるA君。

今日の月は76.4%の月やで

A君の興味をみんなにも広げたいという思いから、みんなで一緒に月を探して観察したり、月のカレンダーを見ながら満月や新月の日を確かめたりしました。

先生、月見えたで!!

クラス全体が月に興味を持つようになり、毎日の観察が始まりました。



今日はちょっと雲で見えんなあ

夏が終わると、日中に月の見える日も多かったです。一緒に観察し、カレンダーで調べた月の形と同じことを確かめて喜んでいました。

明日また見てみよ



月に興味を持ったA君の気づきが、クラス全体に伝わっていき、月の形に興味を持つようになりました。いつ月の輝面率を聞かれても自信をもって答えられるA君。関心の高さと意欲的に毎日観察する力が見られました。

友達もA君に色々月について尋ねるようになり、それに答えていくことで、A君は自己有用感を感じ、自己肯定感も上がっていきました。今まで頼りにされる経験の少なかったA君の心の成長も大いに感じることが出来ました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------



## 中舞鶴幼稚園

5・4歳児 すみれ・ばら組 「いきものたんけんたい」

5月、園庭で生き物探しをする姿が増えてきたので、もっと広い場所にはどんな生き物がいるのか探しに行つてみることにしました。生き物探しに必要なものをお友だちと相談したり、自分たちで考えたりして、『むしとりあみ』、『むしかご』、『バケツ(大・小)』、『スコップ』などを準備しました。準備が出来たら、近くの公園に“いきものさがし”に出発です。

なんかおった!

どこ?

くさのなか  
やん。



近くの公園に行ってみると、バッタやちょうちょなど、たくさんの生き物が見つかりました。生き物を見つけると、生き物の居場所や色・形等感じたことを言葉にして伝え合う姿が見られました。また、生き物を捕まえると、生き物への接し方を考え、共有しながら大切にする気持ちを持って関わろうとする【自然との関わり・生命尊重】が育ってきています。

持ってきた道具には限りがありましたが、貸し借りしながら遊びを深めていく姿が見られました。

めっちゃ  
ちっちゃい!

バッタや！でも、  
なまえがわからんわ。

探してきた生き物の中で名前が分からず『バッタ』を捕まえました。幼稚園に帰って来てから、図鑑で調べることにしました。調べてみると、『トノサマバッタ』であることが判明しました。

グリーンスポーツセン  
ターって所に行ってみ  
たら、おたまじゅくし  
おったよ！

うわ！ほんまや！



6月のある日、おたまじゅくしに興味が出てきました。近くの公園の池に探しに行ってみたのですが、おたまじゅくしの姿はありませんでした。

「グリーンスポーツセンターにおたまじゅくしやザリガニがいるかもしれない。」と教えてもらった保育者が実際にやってみると入口の池や大きな池にいるということが分かりました。子どもたちにそのことを伝えると、「いってみたい！」という気持ちが湧いてきたので、バスに乗って連れて行ってもらうことにしました。

あと・・・ザリガニも  
おるんやつ！！  
行ってみる？

いってみたい！



「ザリガニ釣りもしてみたい」という気持ちが強くなり、近くの山にザリガニ釣りに必要なものを探しに行くことにしました。みんなで話し合った結果、ザリガニ釣りには長い棒か木の枝が必要だということに気が付きました。5つのチームに分かれ、各チームでザリガニ釣りに良さそうな枝を探しに行きました。長さ・すぐに折れないかの感触などを実際に確かめながら探し、気に入った枝が見つかったようです。

これはどう？

ちょっとほそくない？

ひっぱった！

つれるんじゃない？

あ・・・  
にげた。



めっちゃ  
いっぱいおる！

ほんまや！！

おたまじゃくしと  
めだかもとれた！！



ザリガニ釣りをやってみましたが思うように釣れませんでした。園に戻って来てから、「もう一回ザリガニを釣ってみたい」という声が多く、たらいに水を張って、もう一度ザリガニ釣りにチャレンジしました。

生き物探しを通じて、見つけた生き物を図鑑を用いて調べたり、ザリガニを釣るために適した竿を作るためにはどうしたら良いかを考えるようになる【思考力の芽生え】や自分が見たことだけで判断するのではなく、実際に触ってみて感じたことや触ってみたことで考えたことなどを言葉にして伝えようとする【言葉による伝え合い】も育ってきています。

また、捕まえた生き物をどうするかの話題になり、もっと生き物に触れ合いたいという意欲が見られたため、保育室で飼育することになりました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-------------	----------------------	-----------	----------

# 考える、試す、工夫する、夢中になる体験と対話

## ～思考力・判断力・表現力等の基礎～

気付いたり、発見したりしたことから、「なぜだろう」と不思議に感じたり、「知りたい」と好奇心をふくらませ調べたり、予測したり、試したり、工夫したりして、夢中になる体験を大切にします。特に、土、砂、水、草花などの自然は、子どもの体験を豊かにしてくれます。日本には四季があり、季節ごとに様々な変化があり、その時々の気付きや発見から、考えたり、試行錯誤したりして様々な遊びが生まれます。

～舞鶴市乳幼児教育ビジョン 基本方針 p16,17より～

## 5歳児 らいおん組 「カラスからまもろう」

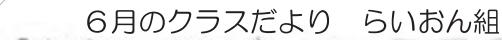
玉ねぎ、じゃがいも、ブロッコリーなど、たくさんの野菜を育て、収穫しクリッピングをしてきました。その中でも、とうもろこしは昨年度育てていきましたが収穫直前にカラスに食べられてしまい、収穫できずにいました。「もう一度とうもろこしを育てたい」という子どもの声から、今年度とうもろこし作りのリベンジすることになりました。カラスに食べられないように相談していく中で「かかし作つたらいいんちゃう」という声があり、かかし作りがスタートしました。

相談の結果、かかしの服を作るチームとズボンを作るチームに分かれることに

どうしたら  
カラスに取られんかな？

それいいやん！

かかし作ったら  
いいんちゃう！？



ズボン作りでは、どこを切ればズボンの形になるのか試行錯誤しながら進めていました。イメージした形にならず、何度も切って覆いてを繰り返しました。

服作りでは、イメージだけでは難しく、実際に着ていた服を脱いで形を描く姿も見られました。

てを描く姿も見られました。  
また、切る作業も一人では難しく、ナイロンを引っ張る子、切る子に分かれて協力する姿がありました。



普段の生活の中で、子どもの「やってみたい」、「やってみよう」という言葉や気持ちを汲み取ることに気をつけながら子どもと関わってきました。実際にやってみると思い通りにならないことが多いですが、その都度、子ども同士で考えている姿や保育士も一緒に相談することを大事にしてきました。

出来上がったかかしを畠に持って行き立てようとしているが、どうやって立てればよいのか悩む子どもたち。少しだけ穴を掘っても上手く一人で立つことができず「竹の節一つ分穴掘ってみよ」という声で、固い土を頑張って掘っていました。すると見事に一人で立ったかかし。「立ったー」と大喜びの子どもたちでした。

昨年度の悔しい経験からはじまつたかかり作り。どんなかかしができていくのか想像もつかないままのスタートでしたが、子どもたちはこれまでの経験や体験をもとに考えを出し合う姿や試行錯誤する姿に【思考力の芽生え】の育ちが見えました。保育士は、子どもの考えに共感しながら、さらに考えを出し合えるように関わってきました。その中で、思いがぶつかり合うこともありましたが、子ども同士で折り合いをつけることが難しい時には保育士がお互いの思いを丁寧にくみ取り、相手に伝えることを大事にしてきました。自分の思いを伝えることを大事にしながら少しづつ相手の思いにも耳を傾けられる姿に変化してきました。

幼稚期の終わりまでに育つてほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-----------------	----------------------	-----------	----------

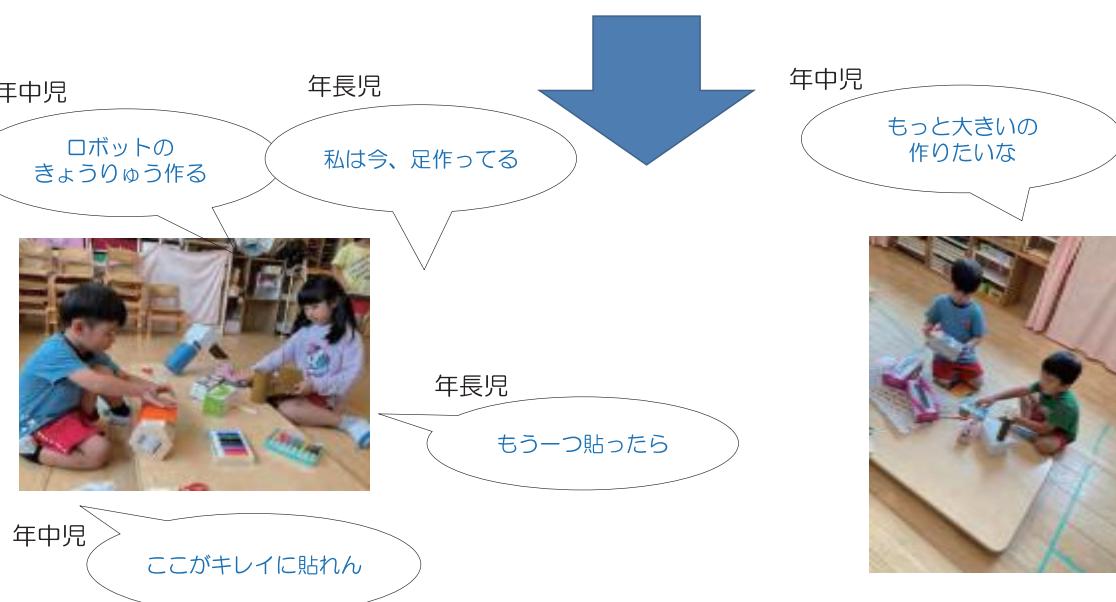


## 4歳児 すみれ組 「共同制作きょうりゅうワールド」

「ベッドのなかはきょうりゅうのくに」の絵本を題材にした絵を描いたことをきっかけに、年長さんもこの絵本に興味をもち、2クラスで一緒に絵本を見る機会がありました。



子どもたちからは「きょうりゅうつくりたい」という声も聞かれるなど、きょうりゅうの世界への興味がだんだん強くなり、年長さんとのきょうりゅう作りが始まりました。



「もっと大きいきょうりゅう作りたい」という声を聴き年長さんに協力してもらうことにしました。



子どもたちの声を聴き保育室に段ボール、牛乳パック、新聞紙、ガムテープなど用意しました。

年長さんを中心にきょうりゅう作りがスタートしました。



## 保育者の関わり・ねらい

子どもたちがダイナミックな製作ができるように段ボールや空き箱など様々な大きさの箱を用意し、また、用途に合わせて使い分けるよう様々な種類のテープを用意し環境を整えました。共同製作では年長さんがリーダーとなって製作をし、その姿を見て「僕もやってみたい」と製作意欲を引き出す事や、皆と一緒に1つの物を作る楽しさ達成感を味わう事をねらいとしました。

## 子どもの育ち・学び

共同製作の中で自分のイメージを伝えたり年長さんの意見やアドバイスを聞いて作り進めていく姿【言葉による伝え合い】様々な素材に触れ自分たちが思う世界をイメージし広げながら作っていく姿がありました。【豊かな感性と表現】また、過程のなかで年中さんが苦戦している場面で年長さんが助けてくれたりと優しさに触れる事も出来ました。【協同性】【社会生活との関わり】

## これからの保育

これからも異年齢の関わりを大切にし、優しくしてもらったことを次は自分たちがお友だちにしてあげられる様な心の成長に繋げたいです。

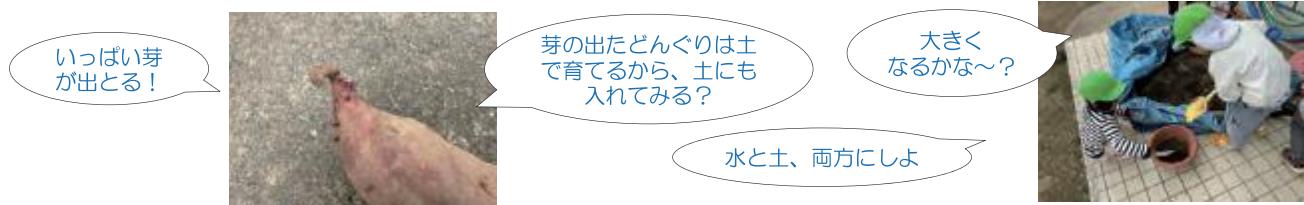
また、子どもたちの興味のあることからいろんな活動にチャレンジしたいと思います。

幼児期の終わり までに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
--------------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-----------------	-----------	----------



## 4歳児 うさぎ組 「さつま芋ってどんな風に育つんだろう？」

今年の春、収穫したさつま芋から芽が出ているのを見つけた子ども達。毎年、観賞用に芽が出た部分を水栽培しているのを見たので、「自分たちもお芋を水につけてみたい」と、さっそく準備し始めました。



「あ、ちょっと芽が出てきた」「大きくなれ」と毎日子ども達が声をかけるので、さつま芋は子ども達の気持ちに応えてくれたかのように、6月に入るとぐんぐん生長していきました。

苗作りの様子				
<b>&lt;水栽培&gt; 4月</b>	<b>5月</b>	<b>6月</b>	<b>7月</b>	
芽がおおきくなるかな~?	葉っぱの色が違う	茎が長いけど葉っぱは少ない	苗の完成!	
品種や切り方の違いで、育ち方にも違いがあるのか気がつけるように安納芋と鳴門金時の2種類を栽培する。		安納芋は葉っぱがちょっと紫色 土の方は茎は短いけど、葉っぱはいっぱい		なんでやと思う? 置く場所?
<b>&lt;土栽培&gt; 4月</b>	<b>5月</b>	<b>6月</b>	<b>7月</b>	
芽がおおきくなるかな~?	葉っぱの色が違う	苗の完成!		
栽培の仕方が違うと生長が違うこと、品種によって葉っぱの色や形が違うことにも気がついていた。		土の方が栄養が多い? 私達もお外行った時、晴れると方が気持ちいいやん		太陽がいっぱいあたつるからじゃない?

水栽培の方が早く芽が出て伸び始めたのですが、途中からは、ゆっくり芽を出した土栽培の方が立派に育っていきました。

どんどん生長する葉を見て「葉っぱが大きくなったら、またお芋できるん?」「水で育てた方はどこにお芋ができるの?」と疑問がわいてきました。「去年、さつま芋植えをした時、畑にどの部分を植えた?」「ここから葉っぱのついとるとこ植えた」「そしたら、これも植えたらお芋になるやん!」「お芋できたら食べよ」そこで、立派に生長した苗の中から、自分で好きなものを選んで植えることになりました。

お芋いっぱいできたらいいな		いっぱいお水あげとこ	
<p>自分たちで育てた苗と買って来た苗の生長の違いを観察できるように同じ場所に置いた。</p> <p>苗を育てたこと、それに選んで植えたことで、自分のさつまいもという特別感があり、大切に育てようという気持ちが強まった。</p> <p>さつま芋の生長過程を廊下に貼り出したことは、さつま芋の姿を理解するだけでなく、そのときどきの自分の関わりをふりかえることにも役立った。</p>			



## さつま芋を茹でて味見してみよう！

苗の時から葉っぱの色や形が違うことに気がついていたので、「じゃあ、味も違う？」と食べ比べをしてみることになりました。



## みんなでスイートポテトを作ろう！

「きりん組さんみたいにクッキングがしたい」「ぼくらのお芋でなんか作りたい」とスイートポテト作りに挑戦しました。



子ども達は、水栽培をしているさつま芋から出たつるを植えたら、さつま芋ができるなどを体験した。さつま芋を例に、植物のはじめから終わりまでの生長に関わることで、生き物の本当の姿を自分なりに知る機会となった。自分が育てた苗での栽培は、特別感があり意欲的に関わる姿が見られた。育て方や種類の違う芋を栽培したこと、生育の違いに気づいたり比べたりする活動となり、野菜作りへの関心が深まっていった。また、育てて収穫して終わりではなく、5歳児への憧れからクッキングもやってみたいという気持ちが芽生え、楽しむことができた。次は何の野菜を栽培するかをみんなで相談し、期待を膨らませている。

幼稚期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	-----------	----------



## 5歳児 さくら組 「影があらわれた！！」

9月ある日のお昼過ぎ、コップをたまたま置いていた子どもが机に影が出来た事に気付いた事で、影という物に興味を示す子どもが増えてきました。



お昼になると保育室に光が入り、窓に貼っていた1枚の折り紙の飾り模様で、床に影が出来ている事に気づいた子どもたち。「もっと作りたい」と折り紙で飾り模様を作りました。



いつでも影で遊びたいのに、午前中は影が出来ない・・・という子どもの声から、「なんで午前中は影が出来ないのかな?」と問い合わせてみました。すると・・・

「太陽の光がないと影は出来ない！」  
「影の場所が変わるのは、太陽が動いているから」



そこで保育者が「ホールのシアターで影を作つて遊んでいた時みたいに影を作つてみる?」と提案。「影作るには何がいる?」との問い合わせに「暗い場所にする」「光(太陽)がいるからライトほしい」と思いを伝え影絵遊びが始まりました。



こういう風に影が出来るんだね

梶包材

光は見えるけど影はわからん

カラーポリ袋

何で作つたら影が出来るのかを、お部屋の中にあるも物で試しています。  
【思考力の芽生え】

サランラップ

よく影が見える

キッチンペーパー



キッチンペーパーが一番影が映ることが分かりました。ペーパーサートを作り、スイミーのお話に合わせて動かしています。途中自分たちでの即興劇も始まりました。

「わかめだして」「お魚だして」「わかった」など子どもたち同士で役割を伝え合いながら、やりとりをする姿が見られます。

午後になると影ができるという事に気づき、《どうしたら影はできるのか?》という科学遊びにも発展し、自然に興味を持つきっかけになりました。子どもたちが気づき、それをクラスで共有し考えたり、試したりしながら活動が広がっていきます。そして、影絵での表現あそびに発展していき、友だち同士でお話を作り、音楽を流し表現することを楽しんでいました。保育者は、子どもの思いを受け止め、考え方を見守り、答えを出さずに待つといった関わりを心がけています。この活動を通じて、子どもたちが「やってみたい」という意欲や【協同性】【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【豊かな感性と表現】の育ちを感じることが出来ました。

幼稚期の終わりまでに育つてほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------

## 5歳児 さくら組 「光の不思議」

12月 隣接する倉梯幼稚園の2階ベランダ側の窓に飾ってあるステンドグラスが夕方になると、光って見えることが気になっていたこどもたち。実際に幼稚園に見に行くと朝の光にあたって自分たちの服に映ると大盛り上がり！ 影にも興味をもっていたので、ステンドグラスを作ってみることにしました。

出来上がったステンドグラスは部屋の窓に貼りました。

実際に3時のおやつの時間になると・・

制作していく中で、カラーセロファンの色を2枚重ねると違う色になった事に気づいたこどもが、茶色が欲しいので、5色ほど重ねて色を作っています。色を作る工夫もみられます。

以前の影絵遊びの経験から、窓に貼ったステンドグラスの影が出来る時間や、曇りの時は光がないから床に影が出来ないという事を学んでいたこどもたち。「明日晴れたら太陽が出てきて影できるのかな」と会話が広がっていました。また、2階ホールの窓にもステンドグラスを貼り、いつ影が出来るのかを何回も見に行きました。自分たちの部屋と違い、午前中の方が影が出来てきれいな光の色が見える事にも気づきました。

光と影に興味をもったのは5歳児だけではありませんでした。ホールで1歳児のこどもたちが何かを発見しました。「どうしたの？何か見つけた？」と聞くと「見てー！きれい！」と足で影を踏んでいます。

1歳児

0歳児

自分の影で光が見えなくなる不思議さも感じていました

0歳児も色のついた光に気づき指さしをしています

0歳児のころから光や影に興味をもって触っていた1歳児。さっそく色のついた光に気づきました。気づいたことを保育者や友だちに知らせて共有する姿や、何人かが集まり「きれいー」と思いを伝え合う姿も見られます。みんなが活動するホールにステンドグラスを飾ったことで、異年齢のこどもたちが光や影に興味をもつきっかけになりました。

幼稚期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	言葉による伝え合い	豊かな感性と表
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	-----------	---------



## タンポポこども園

4歳児 ふじ組 「お家に電気をつけよう！！」

保育室のおままごとコーナーにある段ボールの家。その中に入り、食事をしたり、赤ちゃんの世話、外にいる友だちとやりとりをしたりすることを日々楽しむ子どもたち。

ある日、中に入って遊んでいたとき、電気がなく暗いことに気が付いたことから、「電気を作ろう！」と必要な材料を集め、電気作りが始まりました。

こんな電気にしようかな？

黄色の電気にしたいんやけど・・・

何で黄色にするん？

いいね。何色の電気にする？



黄色にしたら明るくなると思う！！

廃材の中から大きいカップと小さいカップを見つけ、組み合わせると、電気の形がイメージできました。

この大きいやつとくっつけてみるわ！



小さいカップにスズランテープを入れ、色がつきました。

明るい色といえば黄色と考え、カップに入れるものに適しているのは、スズランテープだと気付き、試してみました。

ちょっとおさえてくれん？

いいよ！

この辺につけてみよっかな

いいね！

大きいカップに小さいカップを組み合わせたため、一人では難しいと気付くと友だちの協力を求めていました。人に頼んだり、お願いしたりすることも大切な育ちです。

ひも付けたらこんなになったで！



そのひもどうするん？



天井に付ける！



電気付いたで、ちょっと明るくなったわ！

# タンポポこども園

電気が付き、電気を点けるスイッチが必要と気づき、家の中に設置するスイッチ作りが始まりました。何で作ろうかと考えた結果・・・

これ(ペットボトルのふた)と、これ(プラスチック容器)をくっつけたらスイッチになりそう！

いいね！付けてみよう！

スイッチどこに付けよかな？

ん～ここなんかいいんじゃない？

ちょっと持つといて

いいよ！

みて！くっついで

おしてみるわ！カチッ

あれ！へっこんだ！

なんでやろ？

白いやつが、やわらかいからや！

スイッチを付ける場所が決まると、友だちに手伝ってもらい、付けたい所へ付け始めました。

何で作ろうか試す中で、固いペットボトルのふたとやわらかいプラスチック容器の組み合わせに辿り着きました。

素材の固さや大きさの違いでの組み合わせで、楽しいものに変化することに気付きました。よりイメージに近付けようと試行錯誤していました。

電気のスイッチを見た他の友だち。同じ方法で違うものに代用できるんじゃないかと気付き相談しながら作り始めました。

ここに貼ったらピンポンになるな！

ほんまや！

後日

変わっていく家を見て自分だけの家が欲しくなり、一人用の家も出来上がりました。

ポストに手紙が入ってたよ！

誰からかな？

友だちに关心を持ち、同じ方法で別のものになると気付くことができました。

日々遊んでいる中、必要なものに気付き、それをどのようにすれば形になるのかを考え試す姿【思考力の芽生え】が見られるようになってきました。一人ではできないことも、友だちに手伝ってもらったり【協同性】、相談したりする【言葉による伝え合い】とできるということに気付きました。  
友だちの作った物にも興味を持ち、自分もやってみることで“もっとこうしたい”と目的を持ち、展開していく様子が見られました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------



# なかすじこども園

## 5歳児 きりん組 「粘土でケーキ作り」

「大きくなったらケーキ屋さんになりたいな」とMちゃん、制作や粘土でケーキを作るのが大好きです。Mちゃんの作った粘土を見てほかの子もおいしそうなケーキやスイーツを作り始めました。



白色の粘土ではかわいいスイーツは作れません。そんな中、Yちゃんが粘土に水性マーカーを混ぜ、カラーの粘土を作り出したのです。



Kちゃんの誕生日のケーキ作った



これはクマのお家、子どものクマがベットで寝ているよ



クレヨン混ぜたらいろんな色作れるで

いっぱい作った次は何作るかな?



色付きの粘土が作れることを知った子どもたちは、色と色を組み合わせ新しい色を作ったりと、ますますあそびが広がっていきました。

人魚と人魚の赤ちゃん



ピンクと赤混ぜてドレスにした

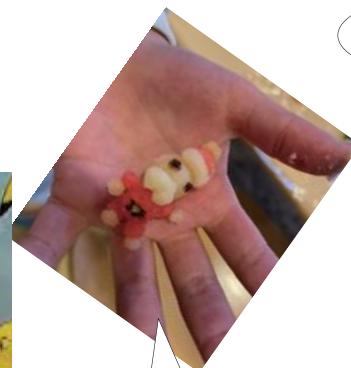
そんな年長児の遊びを見ていた年中児が、クレヨンで挑戦。しかし、クレヨンでは粘土に色が付きません。どうしようかと考え、粘土板にクレヨンを塗り、粘土に色を練りこむという方法を編み出しました。無事に色付き粘土を作ることに成功し、粘土あそびを楽しんでいます。

# なかすじこども園

いろいろな制作を楽しむ中、次に挑戦したのが、大きなデコレーションケーキです。きれいな落ち葉や木の実、おはながみなどで飾っていました。そこにも、色付き粘土を飾りつけました。



「いつも作っているおいしそうなケーキ食べられた  
らしいのにね！」ということで、何か食べられるもの  
はないかな？」と考えました。12月のクッキングで  
本物のケーキを作り、食べられる粘土（マジパン）で  
ケーキのデコレーションを作ることにしました。



赤、黄、緑、白のマジパンを混ぜて、好きな色を作り、細かいところは指先を上手に使い丁寧にデコレーションを作っていました。

いつもの粘土あそびが、「おいしいそうなケーキが作りたい」と言う、ひとりの子どもの発想から色を付けてみようと挑戦し【思考力の芽生え】あそびが始まりました。うまくいったことにより「どうしてしたん？教えて」「私もしてみよう」と【言葉による伝えあい】広がり、それを見ていた年中児も、自分たちのできる範囲で挑戦する姿が見られました。いろいろなイメージを膨らませて楽しむ中で、「みんなで大きなケーキを作ろう」【協同性】と巨大ケーキの制作。「おいしそうなケーキ食べられたらしいのにね」という子どもたちの話から、「食べられる粘土あそびはないかな」と考えマジパンでデコレーションを作ることにしました。当日のクッキングでは、思い思いのかわいいデコレーションを作ることができました。自分の作ったケーキを大満足で食べる子どもたち【豊かな感性と表現力】からは、達成感が感じられました。ケーキ屋さんになりたいというMちゃんの粘土あそびは、実際に作ったケーキを食べるという経験をしたことで、ますますレベルアップしています。

幼稚期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------



## 4歳児 こすもす組 「ふねつくり」

空き箱など様々な素材を使って自分の好きなものやイメージしたものを作ることを楽しむ中、A児が海賊船を作り紹介してくれたことをきっかけに船作りが広がりました。そしてダンボールとプラスチック容器で作った船をたらいの水に浮かべてみました。



あれ、ふにゅふにゅになった



このことを振り返りで話すと「紙やからや」「ダンボールやったらできるんちゃう」「牛乳パックの方がいいで」「いや、牛乳パックは重たいからできんやろ」と様々な意見が出てきました。

ダンボールや牛乳パックで作った船を浮かべてみると・・・

水が入ってるやん！



いっぱい付いとるから浮かんで、重いもん

穴が空いてるんじゃない？



どうなるかな？浮かべてみようよ



牛乳パック開いとるから水入っとるで

持ち上げてみる？

うわ、水いっぱいできただ

水に濡れた段ボールの船を持ち上げてみると

おもい！！

実際に船を浮かべてみることを通して、穴が空いていると水が入ることや、濡れると破れたり重くなることに気付きます。

(思考力の芽生え)

このことを振り返りで話すと、「これでしたらいいやん」とそれぞれに選んだ素材を持ってきて実際に浮かばせてみました。

何でお菓子の箱にしたの？

だって、固かつたから

なるほど、じゃあ浮かべてみようか

浮いてる

ひっくり返してみよ

ちょっとぶにぶにしているであ・・・破れた

子ども自身考えられるように問い合わせたり、それぞれの思いやアイデアを認め、子どもの伝えたい、聞きたい気持ちを大切にし、みんなと共有しています。

これは破れたりせんから

なるほど、やってみよう

ほんまや、破れてない！

自分なりに理由を考えて思い思いの素材を試しました。浮かべる前にも自分の考えを伝える姿や浮かべてみると予想と違ってあれ？という表情もありました。気付いたり考えたことを友達と伝え合う姿も見られました。

(言葉による伝え合い)

他にも木や空き缶、ペットボトルなど使ってみたい素材のアイデアがどんどん出てきて、自分なりの船を作る子どもたち。空箱で作った船が破れたことを何度も経験し、プラスチック容器を選ぶ姿や、イメージを膨らませ、丸やスライダー等いろいろな形の船を作る姿がありました。船に隙間がないか入念に確かめる様子もあり、考えたり工夫したりして作っていました。



空き缶を縦につなげ、縦長の船を作ったけど浮かべてみると、船が倒れて横向きに。



あれ?



木の船に挑戦!



こうやってつけたらいいやん

穴が空いた所を牛乳パックでふせいでみると



お! 水入った  
らんわ

さすがやな、  
やっぱり牛乳パック  
はすごいわ

様々な素材を用意し、船を浮かべる場所をこどもと一緒に作り、予想や工夫したことの結果を確認できるようにしています。

砂場に広い海を友達と作る姿もありました。

ここもっと深くしよ



乗れそう

あ、でも水入って  
きた、、



狭いな、船が  
動けん



ここもっと深くしよ



お! 次の船?  
形が変わったね

これはここに乗るんやで  
沈まんようにエンジンも  
ついとる  
これは運転するやつやで

作って、浮かべて、別の素材で作って、浮かべて、と何度も繰り返します。様々な素材の特徴に気付いて作ったり、形や乗る場所を考えて試す姿もありました。

(思考力の芽生え)



小さいらいは・・・

うわー水入  
ってきた

大きいのにしてみよう!  
乗れたー!!

5人で乗ったら  
止まった

行けた!



→



→



→



作った船を浮かばせたい、動かしたいと様々な素材で作って浮かべることを繰り返していました。その中で物の性質を感じとったり気付いたりし、次はどんな素材で作ろうか、どんな形にしようか考えたり、予想したり、工夫したりするなど「思考力の芽生え」の姿が見られました。また、今度はこんな船を作ろう、浮かばせてみようと自分のやりたいことに納得するまで取り組むことで充実感を得て「自立心」も育まれていきます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------



## 3, 4, 5歳児 「美味しいご飯はいかがですか？」

普段から牛乳パックや段ボール、様々な素材を使って製作を楽しんでいる子どもたち。大きな段ボールを見つけ、「この段ボールでバスを作ろう」と何人かで作り始めました。

可愛いバスにしよう！  
みんなが乗りたいと思うバス作ろう！

運転手さんのハンドル  
いる！マイクもいる

糸電話で放送しよ！  
みんな聞こえるように



どんなバスにするの？

大きい窓とドアが  
いるな

切れるかな！  
やっぱり固い！  
ここおさえといて

みんながわかるように  
旗もつけよう！

子どもの言葉を聞いて、工夫につながりそうなマジック、カップ、毛糸、画用紙なども用意し置いておきました。

危険のないよう安全面に配慮しながら見守りました。

バスが完成しました。バスを見て、「バスの中でご飯が食べたい」、「バスレストランがいいな！」と、他児とイメージを膨らませながら作っていました。

バスの中でご飯食べ  
られるようにしよ！

揺れても大丈夫な机が  
いるな！

みんなが見えるように  
食べ物の看板がいる！



どんな食べ物があるの？

どんな食べ物がいいかな！  
みんななにが好きかな？

焼きそばとジュースと  
スパゲティもいるな！



ここらへんでいいか  
な？  
そこに置いてみよう

置けた！  
倒れん



みんなで食べ物を作っているときに「ちょっと置いて  
みてくる！」作った焼きそばをバスの中の机に置き、  
「机倒れんで！これで食べ物落ちんな！」と報告してくれた子どもたち。

「お客様いっぱい来たらどうする？」と尋ねると  
「バスの外でもご飯食べられるように机を作って出そ  
う」と相談していました。

みんなのアイデアがどんどん形になっていき、楽しんで作り続けてきました。

またある日、どんなメニューがあるかよく分かるように「看板作ろ、みんなが見えるように大きいのがいいかな」と相談し看板を作り始めました。

画用紙にメニューを描き、大きな段ボールに貼りつけました。

みんなメニューの字見えるかな？

絵描いた方がみんな分かるかな？

どうしたらみんなによく分かるのか見る人の気持ちになって考えています。

看板斜めの方が見やすい！

倒れてこんな！メニューすごい見える！

机どこに置く？ここが広い！

バスレストランはじめます！



貼るんここでいいかな？

ここに貼ろう！

看板や料理が完成すると、子ども達から「バスに乗ってご飯売りに行こ」という声があがり、どんなバスレストランにするかをみんなで相談しました。バスレストランの準備ができると「バスレストランはじめます」「おいしいご飯はいかがですか」とお客様を呼びこむ子ども達でした。



美味しいご飯いかがですか？

いっぱいありますよ！

安いですよ！



バスレストラン作りを進めていく中で、友達の意見に共感し相談しながら工夫したり、協力したりして楽しんでいた。その様子から【言葉による伝え合いや思考力】【協同性】が育っていると感じた。食べ物は、家庭の中で料理を作っている場面を見たり、一緒に作ったりしている子どももいたようで、そのような経験から子ども達がイメージしたことを形にしていた。

これからの保育では、子ども同士の関わりや思いを大切にして、意欲や自信に繋げていきたいです。

幼稚期の終わりまでに育つほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり生命尊重	数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
---------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-------------	----------------------	-----------	----------



# ルンビニこども園

## 5歳児 ふじ組 「ここに生き物すんでほしいな♪」

池から水があふれている様子を見て、「なんかかわみたいやな」「えんちょうせんせいがいけをながーくつくりたいなっていうとった」「やってみよか」というやりとりから子どもたちの川づくりが始まりました。

まずは土を掘ってみる！



みずがこぼれる！  
いしあいてみよ！



いしがたりんからおうちの  
まえにあるいしもってくる！

えんていの  
いしさがそ！

いしのあいだから  
みずがでてくる～！

みずいっ？

すなですきま  
うめたら？

みずとまつる？

石や砂、とゆな  
いろいろな方法  
を試して、水が  
あふれないよう  
に考え、道筋の  
作り方を発見し  
ます。しかし水  
が溜まっている  
ことに気付いた  
子どもたち。水  
を流すにはどう  
したらよいか考  
えていきます。

うちわやホースを使って…



なみいっとる？



これでながそう！

自分たちでわからないときは…

～みるい さかせ川のアベイ～  
・アベイもいなんはせき  
・ながれかながおきい  
・ちよとだらまがある。

～アベイ さかせ川のながれ～  
・いさみいがすみ  
・グキグキみち  
・草にかくよれども  
・じたまにいしがいじよいある。

おかあさんといっしょにかわみてきた！

《こんなのもあったよね！》

どのようにして水を運ぶか考えているときに「おんせんでかったんかったんおちてみずがでてくるやつやつたらよい（しおどし）」という意見がでました。

写真をもとに竹を  
組み立てていきます！



ほんまや！

ここをこてい  
しなあかん

ししおどし、どう  
やって設置する？

ブロックを使うも  
ぐらつき不安定しない…

完成！



写真で竹の重なり方を確認しながら自分たちなりに組み立てていきます。

どうやってみずをここに入れる？

じょうろでは水を流すことは難しいと考え、池の水がでているところからとゆを  
繋げてしおどしまで運ぶ作戦に！

じょうろは？ ずっといれな  
あかん…

それは  
むりやな…

みずがあるところ  
からもってくる！

でもいしがじやまで  
みずがいかんくなる！

いしのないところ  
とおってみよ！

しかし…

みずはたかいところから  
ひくいところにいくから  
これでいくとおもう！

思うように水が運べず…

角のあるとゆを使って別ルートを考案！

“考えた方法がうまくいかなくてすぐに違う方法を考え、再度やってみる”を繰り返し、試行錯誤しながら組み立てていました。うまくいった時にはみんなで喜び嬉しさを分かち合い、達成感を味わっていました。

# ルンビニこども園

## 《ピオトープのまわりはこんなのがあったらいいな！》

川がながれるようになると次は自然物を用いて橋やトンネルを作り、より本物の川に近づけていきます。

これはちいさな  
とんねる！

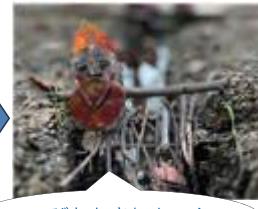
たけおいたら  
はしになりそう！

きのえだは  
らいとにする！

かきのこびとつくった！  
おんせんにはいっとる

はっぱもはやす！

子どもたちの  
見立てによっ  
て自然物は大  
変身！アイデ  
アがどんどん  
と溢れてきま  
した。



竹の橋のそばに小人の橋を作ったことを  
きっかけに小人もやってきました！

竹を架けてみんなが渡ることができる橋も完成！

木材や石のそのままの形を活かして一つひとつ顔や形の異なるオリジナルの小人を作っていました！



小人づくりはさらに発展し、小人のおうちづくりへと  
広がってきました！

ここにつくえおこ！

こびとのおうち  
つくってあげる？

ピオトープ設計図の完成！

ピオトープづくり  
は地域の石材屋さんにお願いし協力  
してもらえること  
に！どのように川  
にするのか再度話  
し合います。



ここにたけのはしあきたい！

いいやん！

自分の考え方やイメージを相手  
に伝わるように話したり、友  
達の意見を受け止めたうえで  
自分の意見を伝えようとした  
りする姿が見られました。

石や木を実際  
に並べて、話  
し合ったこと  
を元に絵に起  
こします！



いよいよ工事開始！

保護者の方に子どもたちでは難しい作業を  
補つてもらいながら子どもたちは楽しく石  
を並べていきます。

友達や保護者と役割を分担するなどの工夫  
をしながらピオトープ完成に向けて取り組  
んでいました。



子どもたちの遊びが  
たくさんの方に協力  
してもらうこと完成  
に近づいています。  
もうすぐ完成する  
ピオトープに子どもたち達も期待を膨  
らませています。

友達と相談しながら遊びを深めていく中で自分とは異なった思いに気付き、相手の意見を尊重する姿がありました。これまで経験したことや知識を自分の言葉で伝えあい、様々な方法を試したり、自然の特性を活かしたりして工夫しようとしています。また、“もっとこんなのをしたい”を追求することで、探求心が深まってきています。さらにみんなで一つのものを作り上げる経験から協同して遊びを進めていく充実感や達成感を味わってきました。子どもから園での様子を聞いてもらうことで、保護者から子どもたちに助言をしてもらい、子どもたちの選択肢が広がり、新しいアイデアが見つかるきっかけになりました。遊びが園だけにとどまらず家庭と地域との繋がりになっていることも嬉しく感じました。

幼児期の終わり  
までに育ってほ  
しい10の姿

健康な  
心と体

自  
立  
心

協  
同  
性

道徳性・規範  
意識の芽生え

思考力の  
芽生え

社会生活  
との  
関わり

自然との  
関わり  
生命尊重

数量や図形、  
標識や文字  
などへの関  
心・感覚

言葉に  
よる  
伝え合い

豊かな  
感性  
と表現

## 安心して過ごせる居場所、「楽しい」という気持ち、 「やってみたい」という意欲

～学びに向かう力・人間性等～

子どもにとって生活の場でもある園では、心地よく、気持ちよく過ごすことが基本です。それは、衛生面や安全面での安心・安全だけではなく、子どもの心が安定し、心地よく、気持ちよいと感じられることが大切です。子どもは、安心してはじめて、自分のやりたいこと、好きなことを見つけて自己発揮することができます

～舞鶴市乳幼児教育ビジョン 基本方針 p16,17より～

## 1歳児 たんぽぽ組 「せんせー もういっかい」～心地よい関わりの中で～

春、環境も変わり、少し不安な表情の子どもたち。意識して、ひとりひとりと触れ合い遊びました。  
また、散歩先や遊戯室で、保育者と一緒に身体を存分に動かして遊びました。



よいしょよいしょ



せんせー  
みてー



もういっかい！

- 散歩先では、畠横の斜面や傾斜のきつい坂道など、保育者を追いかけて登り、登りきると満足そうな顔で保育者の顔を見ています。ゆっくり下ったり、はっておりたりしながら、また繰り返し楽しんでいます。

【健康】○保育士等の愛情豊かな受容の下で、安定感をもって生活をする  
○走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを楽しむ



トンネルとおって～

バスが発車しまーす

わーい！



ゆれるから  
きをつけてね～

- 大きなシーツを使って遊びました。子どもたちの表情を見ながらシーツを動かします。トンネルがあがると、勢いよく走りだす子どもたち。シーツの動きや感触を感じながら、全身を使って楽しんでいます。

【人間関係】○保育士等や周囲の子ども等との安心した関係の中で、共に過ごす心地よさを感じる。

みんなでぶらぶら  
いいな～

せんせーじゃんぱー

しゅっぱつ  
しんこ～



みんな いってらっしゃい～

友だちと一緒に鉄棒にぶら下がったり、保育者に見てもらい少し高い台からジャンプしようとしています。

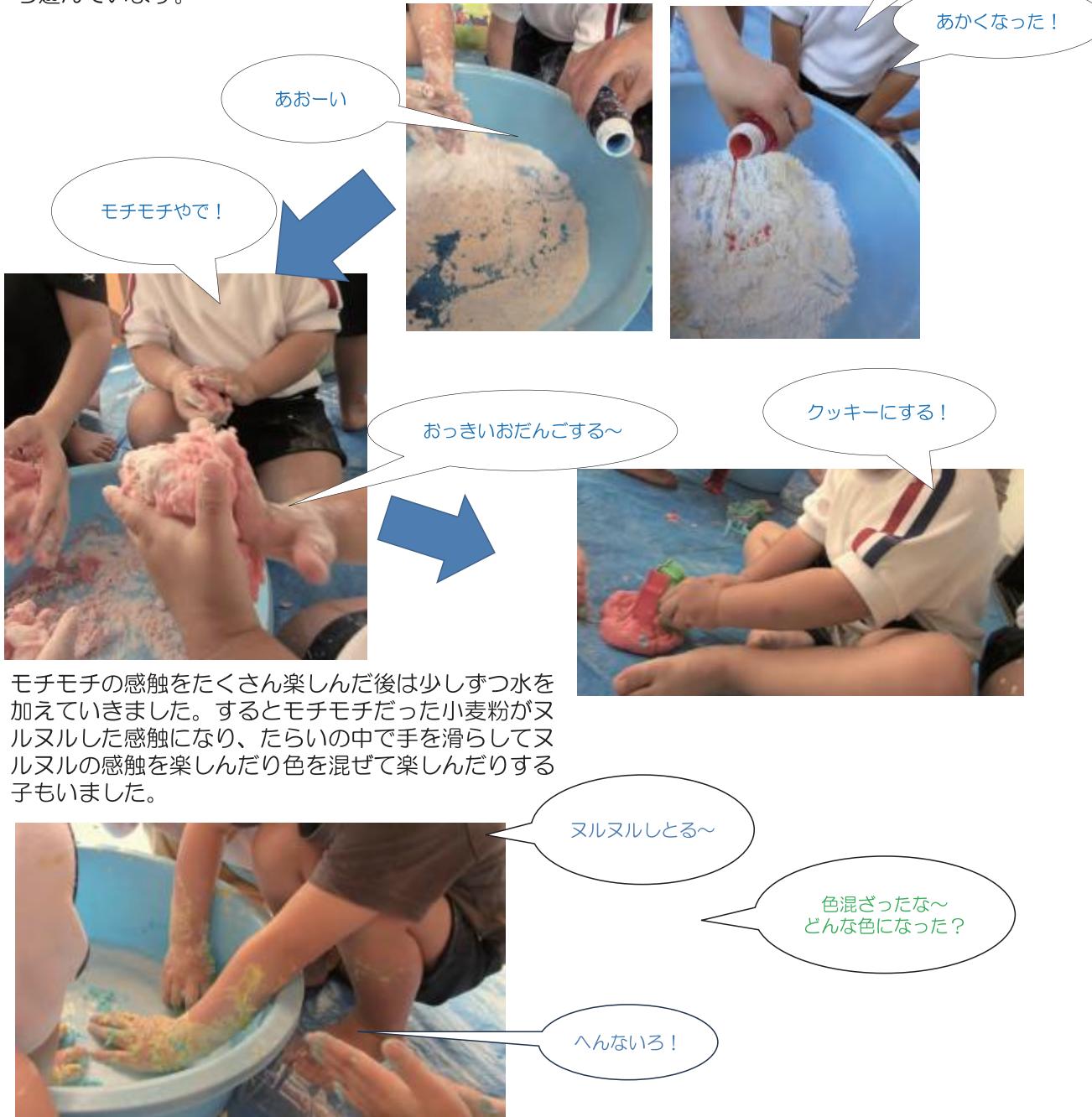
【人間関係】○保育士等の仲立ちにより、他の子どもとの関わり方を少しずつ身に付ける

- 様々な動きを経験することによって身体をコントロールしようとする力が育まれています。
- 保育者に見守られ、安心していろんなことにチャレンジしようとする姿が見られます。
- 保育者が子どもたちの言葉に共感したり、代弁することで、友だちと関わる楽しさを感じています。



## 2歳児 すみれ組 「モチモチやで！」

小麦粉のサラサラした感触を楽しんだ後少しづつ色水を加え、こねていくとベタベタした感触がモチモチに変わっていきました。その様子を不思議そうに見ていたみんなは型抜きでくり抜いてクッキーにしたり丸めてお団子に見立てたりしながら遊んでいます。



- ・見たり触れたりする中で、感触の違いを楽しんだり、感じたことを自分なりの言葉で表現しています。

## 4歳児 ばら組 「じょうずに運べるで!!」

園庭で色水遊び、泥遊び・・とコーナーに分かれて遊んでいる子どもたち。水が大好きなTくん。入れた傍からみんなが使ってどんどん減っていくタンクに気がついた!!

あー！こぼれとる

だんだん少なくなってきた・・

最初は水を入れたバケツを手で運び、何度も砂場と水道を行き来していました。

お水入れまーす

もっこいくんできまーす！

それやったら車で運んでらいいやん



重たそうに運ぶTくんの姿を見て、年長のHちゃんが車を使うことを教えていました。その言葉を聞いてTくんは動き出しました！

運ぶん大変！

重たいなあ



こっちのほうがいいなあ

お水もってきました～

運びやすいよ～



Tくんがまず使ったのが二輪車。でも水が重たくて、バランスがとりにくく苦戦。次に試したのは四輪車。運びやすいことに気がつき、何度も往復していました。

・どうしたら、スムーズに重たい水が運べるのか、自分で考え、工夫し、道具を使い分けて繰り返し取り組む中で様々な思考力が芽生えている。

・友だちの提案を取り入れたり、自分の思いを言葉で伝えたりしながら、水を運ぶ役割を楽しんでいる。

幼稚期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	----------------------	-----------	----------



## 3歳児 ばら組 「引っ付いた！」

園庭の桜の木や裏山の木が、次々と葉を落としていた時のことです。顔の大きさほどある大きな葉っぱを見つけたA君が「見て！めっちゃ大きいんあった！」と保育者に見せました。

【自然との関わり・生命尊重】「ほんまや！顔隠れるくらい大きいなあ。昨日雨降ってたから葉っぱに砂がいっぱいいついてるな」という保育者の言葉を聞いて、「じゃあ、水で洗ってくる！」と水で葉っぱを洗いに行きました。コンテナにたまつた水で葉っぱを洗い、「きれいになった！」と眺めているうちに良いアイディアが浮かんだようです。

テラスの柱に貼り付けてみると・・・





“なんで引っ付かんのかな？”という疑問に対して、自分なりに考えたことを友達や保育者に伝えています。

【思考力の芽生え】 【言葉による伝え合い】



面白そうな遊びを聞きつけた友達が次々やって来て、皆で上方に貼っていきます。 【協同性】



お片付けの時間になる頃には、手の届くところいっぱいに、葉っぱが張り付いていました。大人はつい“何を作るのか”“どこまで貼ったら完成なのか”など、目的やゴールをつい決めたくなってしまいますが、子ども達は「いっぱい引っ付けた！」「高いところまで引っ付けた！」「皆で引っ付けた！」ということに、大きな満足感や達成感を感じていました。たまたま見つけた1枚の葉っぱからひらめきが生まれ、皆で一緒に楽しめる遊びになりました。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり 生命尊重	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	--------------	-----------	----------



## うみべのもり保育所

### 2歳児 にじ1・2組 「幼児の遠足に憧れて」

日頃から乗り物に 관심があり段ボールの電車に友達と乗ったり、ままごとやごっこ遊びを楽しんでいる子どもたち。日頃の遊びや運動会などでだんだんと異年齢の友達がすることにも目を向けるようになってきた秋の子どもたちの様子です。



#### 10月9日『一緒に行きたい』



Yちゃんは友達にリュックを渡し、自分達も遠足に行こうとしました。そんな姿に他の子どもたちもリュックを受け取ったり取りに行ったり遠足に行く準備を始めました。残念ながらバスは出発してしまいましたが、憧れの気持ちを持ちながら手を振って見送る子どもたちでした。



異年齢の友達のしていることに目を向け、『自分達もやってみたい！』と自ら動き出す子どもたちの姿がありました。



#### 10月17日『段ボールバス』



3歳児が遠足に出かける様子を見てから遠足やバスへの興味が続き、子どもたちの思いが実現できるようににぎり遠足を計画しながら、保育室に段ボールのバスも準備することにしました。

大きな段ボールの登場に次から次へと中に入り込む子どもたち。保育士が作る様子を興味をもって見たり、自分達にできることをしようとしたりして一緒にバスを作りました。バスに乗って遠足に行くつもりで遊んだり、バスの中でごっこなど別の遊びが始まり子どもたちにとって愛着のある遊び場となりました。



「〇〇ちゃんもうみさん（3歳児）みたいに遠足行きたい？」「おにぎり持って行こうと思うんだけどどうかな？」遊びの中でこどもたちに提案してみると「行く！」「ママにおにぎり作って言うとく！」と、その日からおにぎり遠足を楽しみにする姿が見られました。遠足に期待する姿のドキュメンテーションを配信し保護者にもこどもたちの姿・思いを理解し準備してもらえるようにしました。

## 10月22日『おにぎり遠足』

シートやおにぎりを嬉しそうに見せるこどもたち。早く出発したくて仕方がない様子でカバンを背負い園庭に向かう姿も見られました。



いってきます



おにぎり  
おいしい

よかったね！  
おで外で食べると  
おいしいよね～



Aのおにぎり  
鮭やった

Hはワカメ！



おにぎり  
持っとるで！

帰り道には「楽しかった」「また行きたい！」と話すこどもたち。家に帰ってからも楽しかったことを保護者に伝えていたそうです。

満足感をたくさん感じたこどもたちでした。

こどもたちと共に製作した『〇号車』標示付きの散歩車バスを準備し、遠足ごっこに出発です。

## 10月23日『粘土でおにぎり作り』

### 10月30日『リュックを背負って』



遠足  
行ってきます！

Gも行く！

一緒に  
行こっか！

S、おにぎり  
ぎゅ！ぎゅ！  
するよ

昨日  
おにぎり  
食べたね



ナップサックやシートをままごとコーナー付近に設置、ままごとコーナーにもおにぎりやお弁当箱を整えました。遠足の経験を早速遊びに取り入れて友達とやりとりしながら一緒に過ごすことを楽しむ様子が見られました。



ただいま！

おかえり～！

よかったね！

おかし2個  
食べたで！

こどもの姿や保護者からのリクエストもあり第2回遠足を計画しました。なかなか天気の良い日がなく午後からでも一時的に晴れると「今日遠足行く？」と楽しみにしていました。

## 11月21日『第2回遠足はおやつ遠足』

この日も朝から期待感いっぱいのこどもたち。みんなで食べる場所を探し場所が決まるごとに、すぐにシートを敷き準備を始めます。小さなビスケットを食べ帰ってくると迎えてくれた先生たちに自分の言葉で伝える声がたくさん聞かれました。

こどもたちが安心して自己発揮して遊ぶ中で出てきた一つの姿・思い。憧れていたことが実現する嬉しさ、実際にでき思いきり楽しんだ満足感を十分に味わったこどもたち。この満足感がこれからの自己発揮や意欲につながるといいなと考えています。これからもこどもたちの思いに寄り添い、声に耳を傾けながら、やりたいことが実現できるように、またじっくり遊び込めるような環境構成・援助を心掛けていきたいと思います。



## 1歳児 「わたし、ちいさなおかあさん」

家庭や園の生活の中で、自分がしてもらっていることを真似る様子が見られる。  
鞄をもってお買い物に出かけたり、ご飯を作り机に並べて、それを友だちに食べさせてあげたりして遊んでいる。

また、人形を小さな赤ちゃんに見立て、世話ををして楽しむ姿が見られる。

言葉でのやり取りを通して  
「どうぞ」「ありがとう」など、  
コミュニケーションを取るため  
の言葉の獲得に繋がっています。

ありがとう～

はい、どうぞ



赤ちゃん、「エーン  
エーン」しとってや

よしよし

抱っこするー



赤ちゃんかわいい

人形を使うことで、赤ちゃんに  
見立て気持ちを考えるなど想像力を  
豊かにします。

ねんねする?

トントン  
してあげる

静かにしないとね

顔をギューッと近づけたり  
して、優しく触っています  
小さい子を可愛がる、思い  
やる心が感じられます。

しー！



何してるの？

○○ちゃん、  
お母さんみたいだね

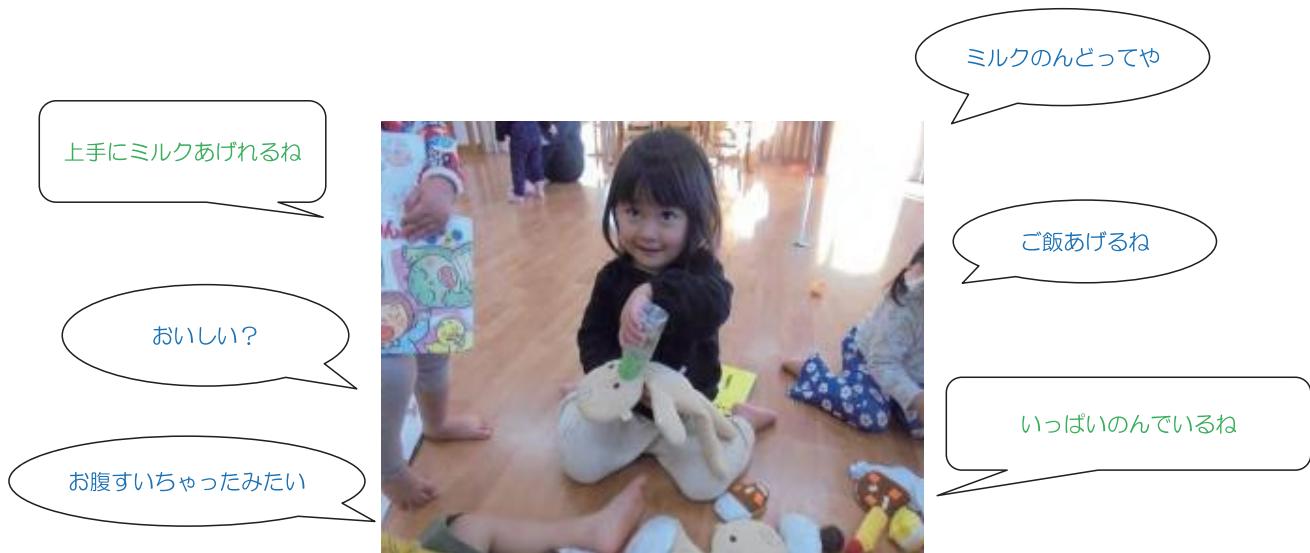


ウンチしちゃった

友だちが遊んでいる姿を見て、  
「私もやってみたい」「一緒に  
遊びたい」と思い、同じ行動  
(遊び)をしようとしています。

くちゃい

保育者の行動をよく見ていて  
います。  
きちんとビニール手袋をして、  
オムツ交換をしています。



子どもの言葉や身振りなどに対して、保育者が子どもの思いを汲み取り、それを言葉で返しています。

## 保育者のかかわり（ねらい 意図 環境）

- 遊びを通して、保育者や友だちとの関わりを楽しむ。
- まごごとという遊びを通して、コミュニケーションをとるための言葉の獲得、豊かな想像力を育てる。

## 考察（育ち 学び）

- 言葉でのやり取りも少しずつできるようになり、簡単なごっこ遊びの中で「～のつもり」「～みたい」と見立てたり、大人の行動を模倣したりと日常生活に置いて、経験したことをごっこ遊びで再現している。

## これからの保育

- 人形遊び（お世話遊び）やごっこ遊びには、想像力・表現力・指先の発達などが育まれています。友だちとの関わりも増える中、自我が育ち、うまく言葉で伝えられない為、トラブルもよく起こります。これも人との関わりを知る大切な経験です。遊びの中で学んだり、子どもの発想を妨げないように見守り、一緒に楽しみ、日々の声掛けを大切にしながら、保育者や友だちとのやり取りを楽しめるようにしていきたいと思います。



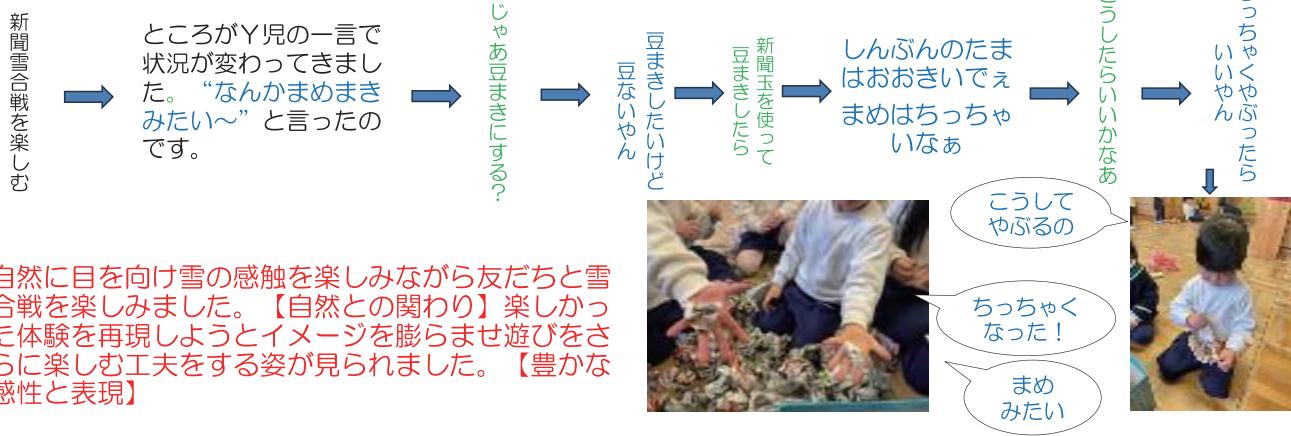
## 3歳児 さくら・たんぽぽ組 「雪がっせんから いつの間にか鬼退治」

待ちに待った雪が降り園庭にも雪が積もりました。“おそといきたい、おそといきたい！”みんなで「おそといきたい」コールが始まりました。“じゃあ、お外へLet's Go” “やったー”みんな大はしゃぎで雪遊びが始まりました。今年初めて雪が積もり大興奮です。早速雪玉を作り始めたみんな。すると自然と雪合戦が始まりました。“え～い” “きゃあ～” “わあ～い” 嬉しい声が飛び交います。その中でもせっせと雪玉を作る子、投げる子、当たられる子と自分のやりたいことをする姿が見られました。

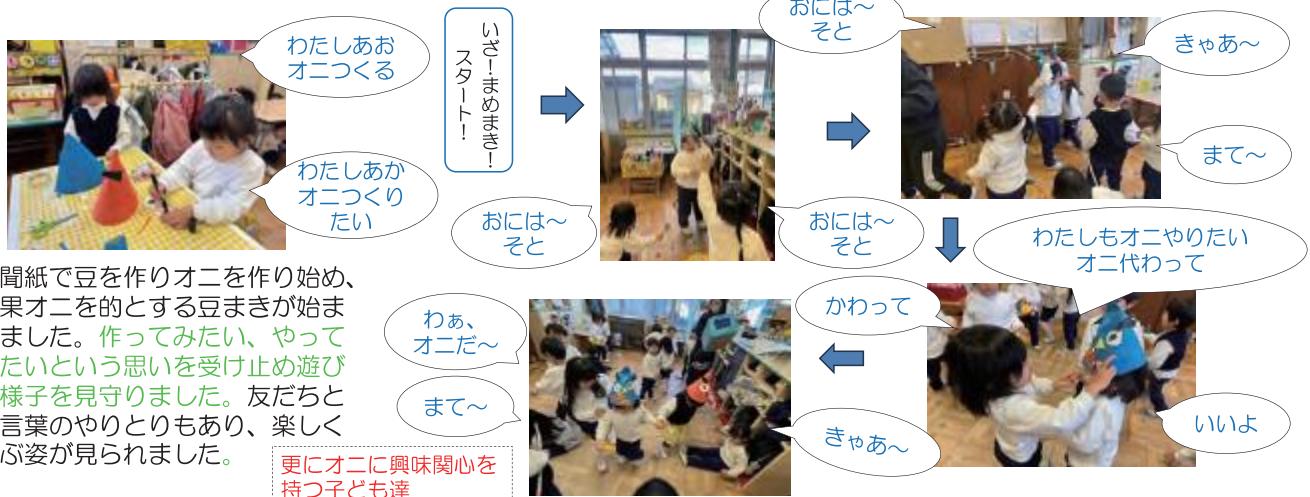


K児が思い付き、始めた玉作りが友だちに広がりました。大きいのを作る子、しっかりにぎって固くする子、紙をくしゃくしゃにして作る子、それが工夫して雪玉を作る姿が見られます。“ゆきがっせんする？” “する～” ということで新聞雪合戦のスタートです。

数日後雪がすっかり溶けてしまいました。ところがK児が部屋にあった新聞紙で何やら作り始めました。“なにつくっとん？”と聞くと“あのな、ゆきだまつくっとん”と返事してくれました。先日経験した雪合戦がよほど楽しかったようで新聞紙で雪玉を作る姿が見られました。“すごいね、いっぱい作って雪合戦またする？” “うん、する、する” するとK児の近くで遊んでいた友だちが同じように雪玉に見立てて作り始めました。



“豆もできたしこれで豆まき出来るね。まだなにかいる？”と聞くと“せんせい！おには？オニつくりたい”とO児。“わたしもオニつくる”とI児が今度はオニ作りを始めました。



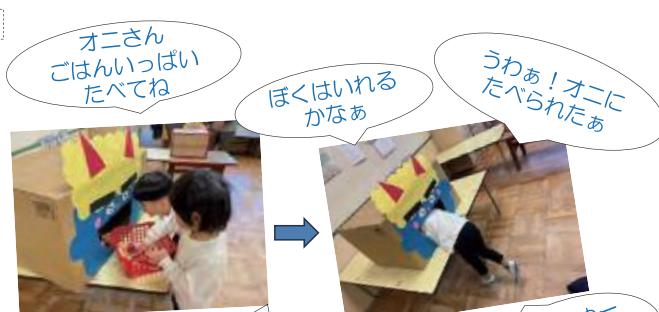
新聞紙で豆を作り才二を作り始め、結果才二を的とする豆まきが始まりました。作ってみたい、やってみたいという思いを受け止め遊びの様子を見守りました。友だちとの言葉のやりとりもあり、楽しく遊び姿が見られました。

## 更に才二に興味関心を持つ子ども達

節分に向けて保育者が豆まき用に作っていたオニの玉入れを発見！



最初はオニの口にご飯を入れて遊んでいた下児がオニの口に入りたいという気持ちが高まり入り込みました。その姿を見たクラスの子達が“下くんをたすけよう”とオニ退治に展開。さて武器になるのは?



うわあ、でかあ  
どうしてつくっ  
たん?



友だちを助けに行くという設定で、相談しながらストーリーを展開していきます。【協同性】の芽生えを感じられます。次から次に遊びが展開して、まだまだ続きがありそうです！

雪が降り、雪玉を作って雪合戦をしたことをきっかけに、室内でも新聞紙の玉を雪玉に見立てて楽しむ姿がありました。遊びを振り返ったり、子どもの言葉や思いを丁寧に聞いたり環境を整えることで、さらに節分のイメージから鬼退治ごっこになり、友だちとイメージを共有して表現を楽しむようになりました。今後も一人一人の気持ちを大事に受け止め認めながら対話する時間を設け子どものやりたい思いが実現できるように支えていこうと思います。

幼稚期の終わりまでに育つてほしい10の姿	健康な心と体	自立心	協同性	道徳性・規範意識の芽生え	思考力の芽生え	社会生活との関わり	自然との関わり生命尊重	数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	言葉による伝え合い	豊かな感性と表現
----------------------	--------	-----	-----	--------------	---------	-----------	-------------	----------------------	-----------	----------



## 中保育所

### 2歳児 ばら組 「いや！じぶんは～したい！」

今日は雨。遊戯室に運動遊びを設定し、遊戯室、保育室の好きな場所を選んで遊べるようにしました。保育士が「遊戯室で遊びたいなーって人は、お片付けしようね」と言葉をかけると、泣き出すNちゃん。その時は、なぜ悲しかったのか分かりませんでしたが、ロッカーから帽子と靴下を取り出し、中庭へ出る扉の前に立ち止まるNちゃんの姿から、“Nちゃんは、遊戯室でも部屋でもなく、外で遊びたかった”のだと気が付きました。



Nちゃん、お外は雨ざあざあ  
だから、外では遊べんねー  
お部屋でブロックの続きをする?  
それとも、遊戯室に先生と行ってみる?  
遊戯室もおもちゃがたくさんあって楽しそうだよ。

いや！いかない！！！

そっかー。Nちゃんは、  
お外がよかったんだね

おそとがいいの！！！

「いや！じぶんは～したい！」と思いを十分に主張する2歳児らしい自己主張の姿です。

大人にとっては、困ったと感じることが多い場面ですが、この姿は自分のありのままを伸び伸びと表現できるような環境で、自分らしく考え、行動しようとする“主体的な姿”です。

Nちゃんの思いを知った保育士は、

Nちゃんに雨を感じてもらい、その上でどこで遊ぼうか考えてもらおうと思いました。

そうか。じゃあ、お外に出てみようか

と テラスに出てみることを提案しました。



Nちゃん、雨降ってる？

あめ、ふってるー

雨降ってるねー  
ポツポツって音も聞こえるねー

ポツポツ、いってる

うん

隣に自分の思いに丁寧に応えてくれる保育士がいる穏やかな雰囲気の中、五感で雨を感じるNちゃん。

Nちゃんに更にやり取りを重ねていくと、『泥んこがしたかった』と教えてくれました。

自分から屋内に入ったNちゃんが、遊戯室に視線を向けています。保育士は、Nちゃんの気持ちを細やかに読み取り、温かく言葉をかけました。



Nちゃん、  
遊戯室行ってみる？

うん！  
ないない、するー！

かけ足で帽子・靴下を片付けにいったNちゃんは、保育士と手を繋いで笑顔で遊戯室に向かいました。

「いや！～したい」という思いに寄り添い、共感したことで、Nちゃん自身が納得し、遊戯室で遊ぼう！と選択する姿へとつながったのかなと思います。

保育士は、子ども一人一人の行動や思いをありのまま認め、共感したり、十分に受け止め言葉をかけたりしながら丁寧に保育をすすめるようにしていきます。

## 2歳児 ばら組 「すみれ組さんご来店」

自分の遊びたい場所で、好きな遊びを楽しめるよう、普段から乳児クラスの保育室を開放しています。今日は、2歳児のお店屋さんコーナーにたくさんのですみれ組さん(1歳児クラス)が来店。たくさんお客様が来ているのを見て、Rくん(1歳児クラス)が店員さんになりました。



店員さんらしい振る舞い・言い方をイメージし、表現しています。



見立てたり、なりきったりしながら、アイスの受け渡しや、言葉のやり取りを楽しんでいます。そんなやり取りの様子をじっと見つめる1歳児クラスのHちゃん。

一緒に生活するお友達への興味や関心が高まり、遊びを通して関わることを楽しんでいます。

保育所での生活を楽しみながら、好きな遊びを通して、人と関わり合うことの心地よさや、楽しさをたくさん味わってほしいなど思い、乳児クラスの保育士みんなで連携し、それぞれ近くで遊ぶ子ども一人一人の視線や表情、身振り、言葉などから内面に思いを寄せ、愛情豊かに温かく受容的・応答的に関わることを心がけています。



## 2歳児 つくし組 「世界で一つだけのカバン」

### 6月 パン屋さんオープン♪

6月頃、お店屋さんコーナーで買い物ごっこが流行し始めました。当初、お店に陳列していたのは保育士が用意したお菓子の空箱でした。パンの絵本から「パン屋さんを開くのはどう?」と提案しパン作りがスタート。「あんパン作る」「メロンパンがいい」など自分の好きなパンをイメージして作りました。絵本だけでなくお母さんとパン屋に行った経験から「パン屋にドーナツもあった」と話し、ドーナツなどの新作を作る→売る、買って遊ぶという流れが定着していきました。



#### 考察

- はじめは保育士が店員役になってやりとりをしていた。子ども同士でやりとりをするようになると、見守りや必要に応じて仲介をした。
- 自分で作ったものがお店に並んでいるというおもしろさを感じ、買い物ごっこがあそびが全員に浸透した。そのことで言葉のやりとりが増えた。
- 実際の買い物風景を模倣することで想像力を働かせている。
- 「3個ください」「600円です」など言ったり、レジを打ったりすることであそびの中で数字に興味・関心を持っている。

### 10月 世界に一つだけのカバン

レジ袋が有料化され、買い物ごっこで「袋持つますか?」「カバン持つていかな。」というワードが増えました。“お買い物にはカバンが必要品”と考え「カバン作ってみる?」と子どもたちに問いかけると「リュックがいい」「ランドセルがいい」など自分のイメージをもとにした言葉が飛び出しました。土台になりそうな素材(紙袋・廃材・ダンボールなど)を保育士が用意し、子どもたちが自分のイメージに合ったもの選べるようにしました。



いつでも継続ができるよう環境を用意し、子どもたちは絵を描いたり、のりで画用紙を貼ったりしてオリジナルのカバンを作り続けました。“小学校にいけるかな”“どんぐり入れたい”など作りながら使い道のイメージも膨らませる子もいました。

買い物ごっこは、自分のカバンを使うことでより楽しさが増した様でした。ちょうどその頃「あきまつりがあるから来てねー」とさくらさん(年長児)から開催のお知らせと参加チケットをもらいました。

## 10月 “あきまつり”行ってきまーす～カバンを持って～

お祭りは、屋台・ビー玉転がし・わなげなどの遊びのコーナーがあり、子どもたちは自分の行きたいコーナーを選んでいました。お祭りに参加するだけでも楽しいのですが、自分のカバンを持っていることで参加の意欲が増していました。活気溢れる屋台のお兄さん・お姉さん（5歳児）に「たこやき何個いる？」「今食べる？持ち帰り？」など聞かれて圧倒されつつも「3つ！」「もってかえる！」と答え、自分のカバンからチケットを出し商品と交換し、交渉が成立。“自分で買い物ができた”という達成感に溢っていました。また年長児の作る屋台の商品はどれも本物に見えて刺激を受けている様子でした。



### 考察

- ・子ども同士の架け橋になるよう必要に応じて言葉を添えたり、チケットを出す手伝いをしたり、「自分で買えてすごいね」など自信につながるよう声をかけたりした。
- ・年長児の言葉掛けで 同年齢では出なかった言葉のやりとりが引き出されていた。
- ・コーナーの環境が整っているところに5歳児が手助けをすることで2歳児も自分の行きたい場所を選び、したい遊びに挑戦していた。
- ・幼児の作品を見たり、一緒に作らせてもらったりすることで作業の手順や素材に対する関心が制作への意欲に繋がった。

## 10月～12月 散歩にGO!

～カバンを作っていた時に“小学校にいきたい” “カバンにどんぐりを入れたい”という願いの実現へ～

晴れた日には散歩に行ってどんぐりや木の実を拾い、カバンに入れて持ち帰りました。小学校へ行きたい願いは、保小連携で小学校に行き慣れている年長児さんが一緒にしてくれることになりました。小学校はイチョウの絨毯がある季節。大切そうにカバンに入れて持ち帰りました。



### 考察

- ・大人が散歩のルールを伝えるよりも年長児と一緒に散歩にいくことでルールが身につく。
- ・担任間の連携で子どもたちの夢の実現の幅は広がる。
- ・カバンを通して買い物ごっこだけでなく、戸外で自然物を入れて活用することでさらにカバンへの愛着が湧いている。
- ・願いを叶える経験が充実感、満足感につながる。